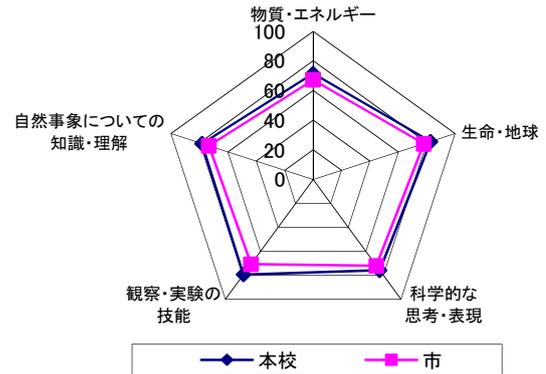


宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	71.5	67.2
	生命・地球	82.7	77.9
観点別	科学的な思考・表現	75.7	72.0
	観察・実験の技能	79.4	70.7
	自然事象についての知識・理解	78.2	73.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○平均正答率は、市の平均を4.3%上回っている。特に、「水溶液の性質とはたらき」のリトマス紙の呈色から液体を区別する方法がわかるという問題では、市の正答率より20.2%も上回っている。「もののとけ方」の水の温度を下げたとき、ホウ酸の解け残りが生じることを指摘する問題は、市の平均を正答率を8.8%下回った。	○「ふりこのきまり」や「もののとけ方」などの実験を伴う学習では、予想を立てて実験を行い、実験から結果を導くことを、今後もきちんと要点を押さえて指導していく。考察したことえを再認識させ、復習問題に取り組ませ、習熟を図っていく。
生命・地球	○平均正答率は、市の平均を4.8%上回っている。特に、「太陽と月の形」の夕方空の太陽と月の位置関係から、月の形を指摘する問題では、市の正答率より、11.1%も上回っている。「動物のからだのはたらき」や「生物のくらしと環境」も市の平均より高い正答率だった。「人のたんじょう」の問題には、市の正答率より低い正答率を示す項目があった。	○「太陽や月の形」の問題正答率が高かったのは、国立天文台から講師の先生の講話を聞く機会があったので、子どもたちの興味関心が高まり、それが正答率を高めたのではないと思われる。今後も専門家の話を聞く機会を設けていく。「人のたんじょう」では、母親の子宮の中の様子を再認識させ、繰り返し問題を解き習熟を図っていく。保健の授業とも連携して充実させる。